

主題：命の木

メッセージ 8

命の流れは、命の供給を伴い、神の威厳ある家から出ており、またその家のためである
聖書：エゼキエル 47:1-12. II コリント 3:6. I コリント 9:11. 3:6, 9. 4:15. 3:2, 12

I. わたしたちは神の究極の行動にあずかるために、神の家から出る命の流れを経験する必要があります——エゼキエル 47:1-12：

- A. 神の究極の行動は、人の中での彼の行動であり、彼の命、性質、要素、本質において彼であるすべてをもって人に浸透し、人を神とならせ、神の栄光、表現を得させることです——II コリント 3:18. I ヨハネ 3:2。
- B. 水は敷居の下から流れ出ます——エゼキエル 47:1：
1. 水が流れるために、敷居、すなわち出口がなければなりません——参照、詩 81:10。
 2. わたしたちは、主に近づいてさらに多く彼と接触するなら、出口を持ち、生ける水が召会から流れ出るようにします——詩歌, 614 番。
- C. 流れは東に向かっていきます——エゼキエル 47:1：
1. 神の川は神の栄光の方向に流れます——参照、民 2:3. エゼキエル 43:2。
 2. 召会の中のあらゆる人が神の栄光を尋ね求め、顧慮するなら、生ける水は召会から流れ出ます——ヨハネ 7:18. I コリント 10:31。
- D. 水は家の右側から流れ出ます——エゼキエル 47:1：
1. 聖書で、右側は最高の地位、首位です——参照、ヘブル 1:3。
 2. 命の流れはわたしたちの内側で首位を持ち、わたしたちの生活と働きにおいて管理する要因とならなければなりません——啓 22:1. コロサイ 1:18 後半。
- E. 流れは祭壇のそばにあり、わたしたちが十字架の対処と完全な献身を必要とし、命の流れを享受することを見せています——エゼキエル 47:1。
- F. 命の流れの増し加わりのために、わたしたちは青銅の人としての主によって測られる必要があります——40:3. 47:2-5. 啓 1:15. 参照、ヨハネ 7:37-39：
1. 測るとは検査し、試験し、裁き、所有することです——参照、イザヤ 6:1-8. 参照、エゼキエル 42:20。
 2. 千キュビトを四回測ることは（千は全体的な単位です——参照、詩 84:10）、わたしたちが被造物として、主によって徹底的に測られ、彼がわたしたちの全存在を占有し、完全に所有することができることを示します——エゼキエル 47:2-5。
 3. わたしたちが主にわたしたちを検査し、試験し、裁いて所有していただければいただくほど、ますます流れは深くなります。流れの深さは、わたしたちがどれほど主によって測られたかにかかっています——参照、I ヨハネ 1:5, 7。
 4. わたしたちは主によって測られれば測られるほど、ますます命の恵みの流れによって拘束され制限されて、ついには川としての流れる三一の神の中で失われ、彼によって流されて、その中で泳ぐまでになります。ある意味で、わたしたちはすべての自由を失っていますが、別の意味で、わたしたちは真に自由です——エゼ

キエル 47:4-6。

G. 川はすべてのものが生きるようにします—— 9 節前半：

1. 川が流れる所では、すべてのものが生き、命に満ちます。
2. 川の流れるは、木、魚、家畜を生み出します—— 7, 9-10, 12 節。

H. 川は砂漠を潤し、死海をいやします—— 8 節：

1. 川は乾いて焼け付いた地を潤し、死の水をいやします。
2. この潤すことといやすことの目的は、命を生み出すことです。

I. 川は沢と沼をいやすことはできません—— 11 節：

1. 沢や沼は中立地帯、中途半端な場所、妥協となまぬるさの場所です——参照、啓 3:15-16。
2. 命の流れのために、また召会生活のために、わたしたちは絶対的になる必要があります。
3. 「あなたが主の回復の中にいるなら、絶対に回復の中において、中途半端であってはなりません。……主イエスは絶対的であることを願われ、要求されます。……絶対的であることによって、わたしたちは流れの中におり、流れは細々とした流れではなく、泳げるほどの川となります。その時、川が入る所では、すべてのものが生きています」(エゼキエル書ライフスタディ、メッセージ 26)。

II. わたしたちが命の流れ、命を与える霊としてのキリストを享受することは、わたしたちが種をまく者、植える者、水を注ぐ者、生む者、養う者、建造する者となり、命を供給する務めを持つためであり、神のすばらしい有機的な建造、すなわち神の威厳ある家のためです：

A. 新契約の十分に資格のある奉仕者は、命を他の人に供給し、彼らが命において成長するのを助ける人です—— II コリント 3:6。

B. 命の奉仕者は種をまく者であり、霊的な種をまきます：

1. I コリント第 9 章 11 節でパウロはコリント人に、「わたしたちがあなたがたに霊のものをまいて」と言います。「霊のもの」は霊的な種のことを指しています。
2. 種は命の容器であり、霊的な種をまくことは、わたしたちの霊の中で、わたしたちの霊をもって、わたしたちの霊から命を分け与えることです。
3. 主イエスは種をまく方として来て、命の種としてのご自身を人類の中へとまきました——マタイ 13:3, 37。
4. 主の回復の中で、わたしたちは新契約の奉仕者として、種をまく者となって命を分け与え、他の人の中でキリストを成長させ、生み出す必要があります。

C. 命の奉仕者は植える者であり、キリストを神の民の中へと植えます—— I コリント 3:6：

1. キリストの中で再生され、神の命を持つ信者たちは、神の耕された地、新創造における神の農場です—— 9 節。
2. わたしたちはキリストを他の人の中へと植えるために、わたしたちの霊の中で命としてのキリストに対する真の経験を必要とします。

D. 命の奉仕者は水を注ぐ者であり、キリストをもって人々に水を注ぎます—— 6 節：

1. ひとたび、わたしたちがキリストを他の人の中へと植えるなら、命の水をもって

彼らに水を注ぐ必要があります——啓 22:17。

2. わたしたち、神の農場で水を注ぐ者は、農場に水を供給する貯水槽の灌漑システムにたとえられます。わたしたちは神聖な「灌漑システム」となって、生ける水の貯水槽を持って内側に蓄え、神の農場としての召会に水を注ぐべきです。
3. わたしたちは生ける水としてのキリストに対する真の経験を持ち、彼との生ける接触を持って、生ける水の経路、すなわち神聖な灌漑システムとなることができます——ヨハネ 4:14. 7:37-39。

E. 命の奉仕者は生む者、すなわち、彼が生んだ子供たちに命を分け与える父です—— I コリント 4:15 :

1. 生むとは、霊の子供たちを生むこと、命を分け与えることを通して彼らを生み出すことです。
2. わたしたちは神聖な「命の芽生え」を持つ必要があります。それは、神聖な命を他の人の中へと分け与えて、彼らが神の子供たちとして生み出されるためです。

F. 命の奉仕者は養う者です。養うことは命の事柄です。それは教えとは異なります。教えは知識の事柄です :

1. 乳を飲ませ、あるいは食物を与えることが、人を養うことです—— 3:2。
2. 使徒がコリントの信者たちに供給したものは、知識のように見えても、実は、それは乳であり（まだ固い食物ではない）、それは彼らを養ったはずです。
3. 使徒たちの健全な教えは、命の供給としての健康な教えを人々に供給し、それは彼らを養い、あるいはいやしました—— I テモテ 1:10 後半. 6:3. II テモテ 1:13. テトス 1:9。

G. 命の奉仕者は建造する者であり、金、銀、宝石をもって建造します—— I コリント 3:12 :

1. 金は父なる神の神聖な性質を象徴し、銀はキリストの贖いの働きを象徴し、宝石はその霊の造り変える働きを象徴します（これは人の性質を表徴する木、肉の中の人を表徴する草、命のないものを表徴する刈り株に相對します）。
2. 雅歌が描写しているのは、正常な召会生活の中で、成就された信者たちが造り変える霊と組み合わせられて、キリストを愛する尋ね求める者たちを成就し、三一の神を彼らに供給し、三一の神の属性が彼らの中へと造り込まれて彼らの美德となることによって、彼らを造り変えるということです—— 1:10-11。
3. これは、キリストの有機的なからだとしての召会を建造して、新エルサレムを究極的に完成し、神の永遠のエコノミーを完成するためです—— I コリント 3:12. 啓 21:18-21。